

平成29年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者	
1 学習指導 ・地域連携 (中高一貫 教育) 〔教務部〕	授業改善、部 活動と両立 した学習習 慣の確立お よび中高一 貫教育の特 性を活かし た教育の充 実に努める。	①主体的・協 働的な学び を育む授業 改善に積極 的に努める 。	公開授業や授業研究会を行う とともに、日々の授業において 、授業力・指導力の向上に積極 的に取り組んでいる。生徒の理 解度はほぼ良好であるが、生徒 により差がみられる。また、保 護者からみた子どもの学習状況 は全体として目標値を超えてい るが、下回っている学年もある 。学習時間の確保、主体的に学 習に取り組む態度の育成に努め ていきたい。	【取組指標】 主体的・協働的な学びを育む授 業に積極的に取り組む。	日々の授業の中で、主体的・協働的な学びを育 む授業改善の取組について A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員	
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【成果指標】 日々の授業の理解度について 把握する。	私は、授業の基礎的な内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。	A+Bの合計が75%未満の 場合は、取組体制、指導方法を 検討する。	生徒
				【目標指数】 A+Bの合計が75%以上	【満足度指標】 子どもの学習習慣を保護者の 視点から把握する。	子どもは、学習を A：しっかりやっていると思う。 B：ある程度やっていると思う。 C：あまりやっていないと思う。 D：全くやっていないと思う。	A+Bの合計が70%未満の場 合は、家庭との連携を強めると ともに、課題の与え方等、改善 策を検討する。	保護者
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【取組指標】 中高一貫教育の適切な実践に 努める。	中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【成果指標】 中高一貫教育の実践について 中学校の教員の視点から把握 する。	中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。	A+Bの合計が80%未満の 場合は、改善策を検討する。	連携中学校 関係教員
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【成果指標】 中高一貫に関する授業内容について A：ほとんど理解できている。 B：ある程度理解できている。 C：あまり理解できていない。 D：ほとんど理解できていない。	A+Bの合計が70%未満の 場合は、改善策を検討する。	連携中学校 連携クラス 三年生徒
	②地域との連 携を密にし 、特色ある 教育活動を とおして、 中高一貫教 育の充実・ 発展に努め るとともに 、取組を積 極的に広報 する。	中高一貫教育の事業への取組 状況およびその成果への評価は 、本校関係教員・連携中学校関 係教員・連携中学校連携クラス 生徒・保護者とも高い数値を示 している。 さらに連携中学校との連絡・ 調整を密にするとともに、さま ざまな取組を積極的に広報して いく。	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【満足度指標】 中高一貫教育の実践について 保護者の視点から把握する。	中高一貫教育に関わる事業の実践について A：適切である。 B：ほぼ適切である。 C：やや不適切である。 D：不適切である。	A+Bの合計が70%未満の 場合は、改善策を検討する。	連携中学校 連携クラス 保護者	
			【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上

平成29年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 〔校務分掌〕	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
2 生徒指導 〔生徒 指導部〕	特別活動や部活動の活性化を図り、豊かな人間性と自主的・実践的態様の育成に努める。	①登校指導や頭髪服装指導をとおして、挨拶の励行、時間厳守、身だしなみなどの基本的な生活態度の育成に努める。	昨年度、教職員・生徒・保護者とも目標指数を上回った。毎朝の登校指導や生徒会の活動などを通して、挨拶に代表される基本的な生活態度が身に付いている生徒の割合は高い。一方で挨拶が十分とは言えない生徒も見られる。生徒一人ひとりが意義を自覚し、積極的に場に応じた挨拶ができるよう、様々な機会をとおして指導していく必要がある。また、時間厳守や身だしなみなど、ルールやマナーを積極的に守ろうという態度を育成する必要がある。	【取組指標】 生徒への挨拶を積極的に行う。	生徒への挨拶を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり積極的には行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【成果指標】 先生や友人への挨拶を積極的に行う。	私は、先生や友人への挨拶を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【満足度指標】 進んで挨拶ができる。	子どもは A：進んで挨拶ができています。 B：ある程度挨拶ができています。 C：あまり挨拶ができていない。 D：挨拶ができていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
	②学校行事や部活動に積極的に取り組ませ、生徒の自主的・実践的態様とリーダーの育成に努める。	多くの生徒が自主的・積極的に行事や部活動に取り組んでいるが、主体性や積極性に欠け、自己を十分生かし切れていない傾向もみられる。学校行事や部活動で生徒自身が役割を主体的、積極的に担い、その責任を他者と協力して果たすことにより、自信や自立心を持てるよう支援する必要がある。	【取組指標】 生徒が個々の役割や責任を果たせるよう支援する。	生徒に A：積極的に支援している。 B：ある程度支援している。 C：あまり支援していない。 D：支援していない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	
			【目標指数】 A+Bの合計が80%以上				
			【成果指標】 自分の役割を積極的かつ主体的に行なう。	学校行事や部活動において、自分の役割を意識し、積極的な取組が A：できている。 B：ある程度できている。 C：あまりできていない。 D：できていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒	
			【目標指数】 A+Bの合計が80%以上				
			【満足度指標】 子どもは、学校行事や部活動等に楽しく参加する。	子どもは学校行事（学校祭や球技大会等）・部活動等に A：大変、充実していた様子である。 B：充実していた様子である。 C：あまり充実した様子ではない。 D：充実した様子ではない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者	
			【目標指数】 A+Bの合計が80%以上				
③いじめの未然防止、早期発見、早期解決に対する教職員の意識の高揚に努める。	いじめ問題について正しい認識と理解のもとで、日々の教育活動をさらに組織的に進めていく。	【意欲・取組指標】 いじめ問題に対して正しく認識し、適切に対処する。	いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて A：十分に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：ほとんど取り組んでいない。	A+Bの合計が95%未満の場合は、改善策等を検討する。	教職員		
		【目標指数】 A+Bの合計が95%以上					

平成29年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 [校務分掌]	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者		
3 進路指導 [進路 指導部]	生徒一人ひとりの学力向上と志望進路の達成に努める。	①志望進路実現のために、土曜講座や大学入試対策講座を実施し、基礎力の定着および応用力の養成に努める。	昨年度、教職員・生徒・保護者とも目標指数を上回った。引き続き、生徒の志望や実態に即した効果的な特別講座や補習の実施に努めたい。	【取組指標】 土曜講座や大学入試対策講座などを計画的に実施し、生徒の学力向上につなげる。	土曜講座や大学入試対策講座など学力向上の取組に関して、その内容や回数が A：適切であった。 B：ほぼ適切であった。 C：やや不適切であった。 D：不適切であった。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員		
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	土曜講座や大学入試対策講座（3年生のみ）への参加は A：学力の向上に十分役立った。 B：学力の向上におおむね役立った。 C：学力の向上にあまり役立たなかった。 D：学力の向上に役立たなかった。			A+Bの合計が80%未満の場合は、実施方法、指導方法を検討する。	生徒
				【成果指標】 土曜講座や大学入試対策講座に積極的に参加し、学力の向上を図る。		金津高校では土曜講座や休業中の補習等、学力向上に関する取組が A：十分に行われていると思う。 B：おおむね行われていると思う。 C：やや不十分であると思う。 D：不十分であると思う。	A+Bの合計が80%未満の場合は、取組体制を検討する。		
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【取組指標】 生徒の志望を把握し、きめ細かで適切なガイダンスを行う。			進路や学習に関するガイダンスを A：十分に行っている。 B：おおむね行っている。 C：やや不十分である。 D：不十分である。	A+Bの合計が70%未満の場合は、改善策を検討する。
	【目標指数】 A+Bの合計が80%以上	【成果指標】 生徒一人ひとりが自分の進路について主体的・積極的に考え、情報収集に努めている。	(進路情報誌やインターネット等の活用、オープンキャンパスへの参加など) 自らの進路について A：積極的に考えている。 B：おおむね考えている。 C：あまり考えていない。 D：全く考えていない。	A+Bの合計が70%未満の場合は、指導方法、取組体制を検討する。		生徒			
	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上						【満足度指標】 進路や成績について子どもと話し合うことが A：十分できていると思う。 B：おおむねできていると思う。 C：あまりできていないと思う。 D：できていないと思う。		
	【目標指数】 A+Bの合計が70%以上								
		②進路研修会や進路だよりをとおして、進路情報を提供するなど、各学年に応じた適切な進路指導の充実に努める。	昨年度、教職員・生徒・保護者とも目標指数を上回ったが、2年生の指数が例年を下回った。今後も、各学年との連携を密にして、生徒の進路意識を高めるとともに、進路研修会や進路だよりをとおして、保護者への進路情報提供に努めていきたい。						

平成29年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 [校務分掌]	重点目標	具体的 取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
4 保健管理 [保健部]	健全な心身を育む生活習慣の確立と美化・環境保護に対する意識向上に努める。	①家庭と連携し、心身の健康に関する知識を深め、自己の健康管理能力を育てる。	学校全体で日常の健康管理は定着してきているが、生徒の健康管理意識をさらに向上させる必要がある。心身の健康に配慮が必要な生徒に気を配り、健康管理と生徒理解に向け、家庭との連携や教員間の共通認識をより一層深めていく。	【取組指標】 家庭や保健室・教育相談係と連携し、心身の健康に配慮が必要な生徒の把握と対応に努める。	クラスの生徒の心身の健康管理に A：積極的に取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員 (クラス担任)
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【成果指標】 心身の健康について自己管理をする。	心身の健康を保持増進するための生活習慣が A：しっかり身につけている。 B：ある程度身につけている。 C：あまり身につけていない。 D：身につけていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【満足度指標】 子どもは家庭でも心身の健康管理に努めている。	子どもは家庭で心身の健康管理を A：しっかり行っていると思う。 B：ある程度行っていると思う。 C：あまり行っていないと思う。 D：全く行っていないと思う。	A+Bの合計が70%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上			
	②美化意識の向上と主体的な清掃活動の実践を目指す指導に努める。	生徒は真面目に清掃に取り組んでいるが、監督者の指示に従った清掃に終わりがちである。清掃方法や重点項目を示しながら、生徒の美化意識を高め、主体的に清掃に取り組めるよう指導する。 さらに、美化意識を育てることにより家庭での整理整頓にも取り組ませたい。	【取組指標】 校舎内外の美化意識を高めるため清掃活動に積極的に取り組ませる。	監督区域の生徒の清掃指導を A：積極的に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員	
			【目標指数】 A+Bの合計が80%以上				
			【成果指標】 校舎内外の清掃活動に対し主体的に取り組む。	日々の清掃に、主体的に A：取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。	A+Bの合計が70%未満の場合は、改善策を検討する。	生徒	
			【目標指数】 A+Bの合計が70%以上				
			【満足度指標】 子どもは、家庭で整理整頓を行っている。	子どもは、家庭で整理整頓を A：しっかり行っていると思う。 B：ある程度行っていると思う。 C：あまり行っていないと思う。 D：全く行っていないと思う。	A+Bの合計が50%未満の場合は、改善策を検討する。	保護者	
			【目標指数】 A+Bの合計が50%以上				
③気がかりな生徒に対する理解と対応に努める	多様化・複雑化している生徒の心の悩みに対応するため、各教員が生徒理解と支援に努めるとともに、相互に共通認識を深め十分に連携を図る必要がある	【取組指標】 生徒一人ひとりに対する理解と支援に努めている。	生徒に対する理解と支援を A：十分に行っている。 B：ある程度行っている。 C：あまり行っていない。 D：行っていない。	A+Bの合計が90%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員		
		【目標指数】 A+Bの合計が90%以上					

平成29年度 福井県立金津高等学校 学校評価総合シート

項目 [校務分掌]	重点目標	具体的取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
5 開かれた 学校づくり [図書 渉外部]	学校と保護者・地域社会との連携強化および教育活動の広報に努める。	①ホームページやPTAだより等をとおして、本校教育の取組を積極的に広報するとともに、保護者や地域社会と連携した活動の充実に努める。	ホームページの内容の充実とわかりやすさが求められている。 学校の教育活動やPTA活動についてホームページやPTAだよりを通して情報発信し、確実に保護者に伝わるよう努める。	【取組指標】 生徒を通じて、学校の教育活動が保護者へ伝わるように働きかける。	PTAだよりなどの配布の際に、保護者へ伝わるような工夫を A：毎回行った。 B：時々行った。 C：あまり行わなかった。 D：行わなかった。	A+Bの合計が80%未満の場合は、改善策を検討する。	教職員 (クラス担任)
				【目標指数】 A+Bの合計が80%以上			
				【満足度指標】 ホームページやPTAだよりをとおして、学校やPTA活動の様子がわかったとする人数の増加を図る。			
【目標指数】 A+Bの合計が70%以上							

項目 [校務分掌]	重点目標	具体的取組	現状と課題	評価の観点・目標指数	判断基準	判定基準	回答者
6 図書指導 [図書 渉外部]	学校図書館 の環境整備 および読書 指導の充実 に努める。	①図書および 資料の整備 と充実に努 める。	毎日のように来館して本に親 しむ生徒がいる一方で、図書館 をうまく利用できない生徒もい る。 生徒の読書意欲を喚起し、利 用促進を図るため、「図書館だ より」や「新刊案内」による広 報活動、魅力的な図書・資料の 整備と充実に取り組む。	【取組指標】 図書の購入について相談や要 求を受けやすくする。	図書の購入についての相談や要求は A：しやすい。 B：おおむねしやすい。 C：少ししにくい。 D：しにくい。	A+Bの合計が70%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上			
				【成果指標】 図書室や学級文庫の本を充実 させる。	図書室や学級文庫の本は高校生として必要な ものや自己を啓発するものが A：よく揃っている。 B：ある程度揃っている。 C：あまり揃っていない。 D：揃っていない。		
		②朝読書をは じめとした 読書指導の 充実および 読書マナー の向上に努 める。	本校の朝読書に対する取組は、 「朝の読書大賞」を受賞するなど 全国的にも高く評価されている。 平成16年から継続して実践し ており、どの学年も概ね積極的に 取り組んでいる。 今後も、生徒の興味・関心を引 くような学級文庫の設置などに 努め、読書指導の充実および読 書マナーの向上を図る。	【取組指標】 朝読書や読書マナーについて 指導する。	朝読書や読書マナーについて A：積極的に指導している。 B：必要に応じて指導している。 C：あまり指導していない。 D：指導していない。	A+Bの合計が70%未満の 場合は、改善策を検討する。	教職員
				【目標指数】 A+Bの合計が70%以上			
				【成果指標】 朝読書に積極的に取り組む。	朝読書に積極的に A：取り組んでいる。 B：ある程度取り組んでいる。 C：あまり取り組んでいない。 D：取り組んでいない。		
【目標指数】 A+Bの合計が70%以上	【満足度指標】 朝読書と読書習慣についての 保護者の見方を把握する。			朝読書は読書習慣に A：効果があると思う。 B：ある程度効果があると思う。 C：あまり効果はないと思う。 D：効果がないと思う。	A+Bの合計が70%未満の 場合は、改善策を検討する。	保護者	
【目標指数】 A+Bの合計が70%以上							